

平成24年 8月2/日

## 平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する 通院支援についての陳情

大磯町議会議長 渡辺 順子 様

代表陳情者 足柄上郡中井町雑色409

中郡腎友会

会 長 城所優子



陳情者 横浜市神奈川区台町1-8

ウェイサイドビル504号

特定非営利活動法人 神奈川県腎友会

会 長 岸上武志



### 1. 陳情の要旨

平成25年度予算策定に際して、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援が戴けますよう陳情申し上げます。

### 2. 陳情の理由

神奈川県には多くの透析移動困難者がおり、通院支援の必要性を早急な対応として多くの声が強く聞かれます。神奈川県の透析患者は18,600人以上おり平均年齢が65歳を超えている状況にあり、私共、神奈川県腎友会が平成20年12月に実施した会員生活実態調査からは、通院施設の送迎に頼る比率が18%強、介護事業者や家族に頼る比率は約31%に及び、自身の力で通院できない者の比率は、合計50%ほどに上ることが実態として把握できており、この比率は今後ますます上昇することが想定されます。

また、先頃実施された日本透析医会と全国腎臓病協議会の懇談内容からは、透析施設経営側として「現行の施設による無料通院サービスは今後長い期間継続することができない」として、送迎サービスの継続の難しさを表明しています。家族による送迎については、核家族化が進む中、伴侶の老齢化による支援の難しさや、透析患者自身の加齢による身体の不自由さの増加等、不安材料は尽きません。

自己移動困難透析者に対する送迎支援を保険適用枠に捉われず行えるよう、検討をお願いするとともに、透析者の現状に見合った予算措置を陳情申し上げます。